

# 横浜創学館高等学校 メディアポリシー

## 1・生徒ソーシャルメディアポリシー

現在、Twitter（ツイッター）・mixi（ミクシィ）・Facebook（フェイスブック）・LINE（ライン）などに代表されるソーシャルメディアを利用する中高生は非常に多く、本校の生徒もその例外ではありません。これらのソーシャルメディアは便利で簡単に利用できることもあり、携帯電話やパソコンからの書き込みや閲覧が頻繁に行われています。その一方で、これらのサービスを使用し、トラブルに巻き込まれたという例も少なくありません。便利なサービスですが、利用方法によっては、思わぬトラブルに巻き込まれること、知らないうちにあなた自身が被害者にも加害者にもなりえるということを理解してもらいたいと思います。

本校では、生徒のソーシャルメディアの利用は保護者管理の下における「自己責任」であると考えます。その利用に関して以下に学校としての基本的な考え方を明示し、理解を求めたいと考えます。

## 2・インターネットは世界につながっています

あなたが発信した情報は世界中の人々が見ることができます。あなたが思いつきで書きこんだ内容が後々、他の人々や自分自身にどのような被害を与えうるのかを一度立ち止まって考えましょう。インターネットにアップされた情報は、完全に削除することはできません。何気なく撮った他の人の顔写真やプリクラなどを勝手に掲載すると、それらは今もインターネット上でコピーされ、他の人の手に渡っている可能性があります。また、ブログと個人日記の違いを理解しましょう。あなたが悪気なく使った言葉でも、活字になってしまうと、他人に不快感を与えることもあります。あなたが、インターネット上で発言や行動を起こす際、常に世界中の人々が見ている可能性があるということを認識してください。

## 3・個人情報に関する書き込みはやめましょう

個人が特定できる情報（個人名・学校名・住所・電話番号・クラス・学籍番号・年齢・性別・あだ名・部活名・最寄りの駅）などは記載しないようにしましょう。また、あなた自身の顔写真はもとより、制服やユニホーム姿での写真、無断で撮影した他人の写真なども個人が特定される可能性があります。たとえ閲覧制限のあるブログであっても、公開するのはやめましょう。これらの情報は、インターネット上で永久に残ります。将来、安易な気持ちでやってしまった書き込みや写真掲載によって、あなた自身の進路や就職に不利益をもたらす可能性があるということも理解する必要があります。

#### 4・友達の情報は確認をとりましょう

友達の情報を載せる際には、友達をインターネット上の危険にさらしてしまう可能性を十分に理解する必要があります。日記やブログの一行、写真一枚、必ず友達の確認をとりましょう。間違った内容を書いてしまった場合は、すぐに訂正しましょう。その際は、直接誠実に謝罪をしましょう。

#### 5・学校の名誉や人を傷つける行為は絶対にしてはいけません

学校に関わるサイトを無断で立ち上げないようにしましょう。学校に対する誹謗・中傷や名誉を傷つけるような掲載をしてはいけません。また、クラスの友人や他人を傷つける悪口、秘密、性的な内容はつぶやきであっても記載してはいけません。これらの行為が発覚した時は、学校はその行為を許しません。当然、「携帯電話」や「パソコン」を買い与えた保護者の責任を問います。

#### 6・利用しない、見ないことも勇気。無視（スルー）することも勇気です。

「利用したことがない」「利用できない」ということは恥ずかしいことではありません。保護者とよく話し合い、家庭においても携帯電話の使用方法を決めましょう。友人が利用しているからあなたも利用しなくてはならないということはありません。「利用しない」安全を選択する勇気を持ちましょう。また、ソーシャルメディアは文字だけのやりとりですので、友人の感情が理解できずに悩むこともあるでしょう。近くの大人に相談することも大切ですが、時には無視（スルー）する勇気を持ちましょう。

#### 7・会ったことのない人とのコミュニケーションは気をつけましょう

その人は、本当に信用できる人間ですか？そもそも、その人は本当にその人ですか？知らない人とコミュニケーションをとる際は、現実世界よりも慎重に判断しましょう。会うことはもちろん危険なことだと認識しましょう。

#### 8・法律を守りましょう

現実世界でやってはいけないことは、もちろん、インターネット上でもソーシャルメディア上でもしてはいけません。これらの行為が発覚した時には、学校においても処分の対象となる場合があります。

## 9・携帯電話・インターネット使用における保護者の責任を理解してください

本校では便宜上（緊急時等の対策）、携帯電話の使用を認めていますが、携帯電話を「持たせる」「使わせる」「使用上の家庭のルールを守らせる」ことと、フィルタリング等の安全管理に関しては保護者の責任であることを理解してください。

## 10・困った時は相談しましょう

ソーシャルメディアへの参加、書き込み、閲覧などで困ったときは、一人で悩まず保護者や先生など、身近な大人に相談しましょう。また、ソーシャルメディアを利用したことで悩んだり傷ついたりしている友人を見かけたり、耳にしたりしたときも、すぐに相談しましょう。

## 11・本当のコミュニケーションとは、相手の表情が見えるものです

私たちが考える最良のコミュニケーションの方法は、電波を通さずに「直接会って話をする」ことです。直接会えば、相手の表情がわかります。同じ言葉でも表情や雰囲気によって意味が違ってくることもあるのではないのでしょうか。言葉で直接伝えられない内容をインターネット上に書き込むことは必要ないと考えます。友人と直接向き合って、あなたの判断や考えや感情といったものを伝えられないのであれば、それは本当のコミュニケーションとはいえません。実際に顔を見て話をしない「文字だけの世界」では、言葉が独り歩きするものです。学校をはじめとする、「現実社会」を生きていくあなたたちには、本当の意味でのコミュニケーション能力を身につけて欲しいと思います。